



年頭のご挨拶

校長 加藤 妙子

皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年は年明け早々より大雪に見舞われ、大変なお正月となりましたが、皆様にはお健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、地域の皆様・保護者の皆様には本校教育の推進に多大なるお力添えをいただき、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

どうぞ、本年も相変わリませず、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、平成26年度もいよいよ最終の学期となりました。3学期は1年で最も短い学期ですが、1年間の総仕上げを行うとともに、進級・進学に備える大切な学期です。

わたくしたち教職員は、子ども一人ひとりがこの1年でどのような成長を遂げたかを具体的に見だし、そして、新しい学校・学年で希望や目標を高くもって元気に歩み出せるようリードしていきたいと考えております。

ご家庭におかれましても、この1年間がどのような1年であったかを振り返り、よさ・努力・工夫などについて話し合い、来年度につなげていただければと思います。



いよいよ校舎建築開始！！

昭和30年に建造されました現・石部小学校校舎は今年還暦を迎え、いよいよその改築が始まることとなりました。様変わりする母校の様子に淋しさを感じられる方々も大勢いらっしゃると思いますが、新しく生まれ変わる石部小学校に今までと変わらぬエールをよろしくお願いいたします。

1月10日より、雲梯の撤去・縄張り等が始まり、いよいよ本格的に工事がスタートいたしました。そして、17日(土)に地鎮祭・起工式が執り行われる予定です。

工事開始に伴い13日(月)より運動場の使用が禁止となりました。体育の授業は、体育館もしくは第2グラウンドを使用して行います。第2グラウンドの使用にあたっては、当面グラウンドの中央に歩道が設置され、子どもたちはそこを歩いて第2グラウンドに移動することになっています。また、第2グラウンドは、校舎からだいぶ離れている関係で、チャイムの音が聞こえにくいという難点がありましたので、市当局の方でチャイムがよく聞こえるように工事をしていただくことになっています。

登り町の押しボタン式信号のところから工事用車両が出入りすることになりますが、教育委員会・関係業者と十分に連絡をとりあい、子どもたちの安全の確保に努めてまいりたいと考えております。

運動場が使えないために、昼休みや長休みの遊び、あるいは体力づくりに様々な支障が予想されると思いますが、運動場がなくても子どもたちがいきいきと学校生活を楽しみ、体力の向上にもつながるよう、「石部小学校・生き生き生活大作戦！」と称して、取り組みを工夫していきたいと思っています。

工事期間中、予期しなかった課題が出てくることもあるかと思いますが、どうか皆様のご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールへ

石部小学校は平成27年4月1日をもって、コミュニティ・スクールの指定を受けるべく、今準備を進めているところです。運営協議会の組織、活動目標や内容、規約等について、この一月から二月にかけて最終の詰めを行う予定です。

地域社会を守り、未来につなぐためには、今の子どもたちが社会を引っ張っていく30年・40年後に、子どもたちがどんな力をつけていなければならないかを見据え、今わたしたち大人は何をしなければならないのか、学校・家庭・地域が課題を共有して、課題解決のために力を合わせ、協働して子育てに取り組んでいくのがコミュニティ・スクールです。

子どもたちの未来は、そのまま地域の未来であり、子どもたちの幸せは、そのまま地域の幸せに通じていきます。「コミュニティ・スクール指定へ向けてのアンケート結果」に見られる「石部の町のよさ」や「石部の町の子どもたち（中学生や高校生も含む）の課題」については、すでに石部小学校のホームページで詳細を掲載しておりますが（平成26年11月18日より）、本号において、今一度整理し、皆様と課題や今後の方向性を共有したいと思います。保護者の皆様のご意見をすべてここに揚げることはできませんので、まだ、ホームページをご覧になっていない方は、是非見ていただきたいと思ひます。

「石部の町の子どもたち(中学生や高校生も含む)の課題」として、次のような意見が出ています。

(「課題あり」と回答された方は44.5%です。)

○あいさつができない。

年齢が上がるにつれてできない傾向にある、元気なあいさつがない等。

○マナーが悪い。

自転車の乗り方や歩行時の交通マナー、ゴミのポイ捨て等。

○学力が低い、向上心がない。

勉強の時間が少ない、自主学習ができていない。

○問題行動やそれにつながるような姿がある。

公園やコンビニの前でたむろしたりスーパーマーケットで騒いだりする、放課後うろうろしている子どもたち、言葉使いがよくない、携帯電話の使用方法に問題がある、いじめが心配等。

○思いやりが育っていない。

偏見や差別がある、障がいのある人たちを受け入れ理解しようと努める心に乏しい、外国籍の子どもをよそ者のように見ている、何事にも無関心で自分さえよければよい等。

○自分で考える力が育っていない。

自分で気づき考える力が育っていない、友達や周囲の環境に流される等。

○地域や友達との関係が希薄である。

地域行事には限られた子どもたちだけが参加している、子どもが遊ぶ場所がない、ゲームを通じてのみの友達関係になっている等。

一方、「石部の町のよさ」として、こんな声が上がっています。

(石部の町が好きな理由としてあげられた意見です。「好き」と答えた方は41%です。)

○石部の方々は、子どもたちに声をかけて見守ってくださる。学校応援団や地域の方が子どもたちの教育に携わってくださる。高齢者が元気で地域活動に積極的である。

○子どもたちは素朴で純粋、優しい。 ○人のつながりが深い町、地域の人々と交流がある町。

○自然が豊かで歴史のある町、人情味のある町、親切な町、住みやすく温かい町。

○のんびりした環境とこじんまりした雰囲気。ゆったりとしていて住みやすい。

○暮らしやすく安全な町、交通の便もよい。

○自然がたくさんあり、子どもが遊べる場所も充実している。



「わたしたちの町・石部」には上記のような子育ての課題があることがわかります。しかしながら、地域の人たちが懸命に教育にかかわってくださったり、人情味があったり、子どもたちが素朴であるなど、石部の町には「石部の強み」があることもわかります。

コミュニティ・スクールは「石部の町の強み」を生かして、学校・家庭・地域が課題解決に向けて、協働して進んでいきたいと考えています。